

2014年度日本木材学会中部支部大会（伊那）実施報告

大会実行委員長 武田孝志（信大農）

2014年度日本木材学会中部支部大会は、平成26年10月16日（木）～17日（金）に、長野県伊那市において開催されました。参加者は55名で、来賓として、日本木材学会会長の杉山淳司先生、長野県林務部県産材利用推進室長の春日嘉広様、長野県上伊那地方事務所林務課長の小坂信行様には懇親会にご参加いただきました。

初日の評議会および研究・技術発表会は、伊那市駅前にある伊那市生涯学習センター「いなっせ」において行われました。口頭発表11件およびポスター発表18件の発表がありました。当日は大変天候に恵まれて、会場の6階からは伊那谷の山並みが見渡せました。懇親会は市内の信州INAセミナーハウスにおいて行われました。34名の参加者でした。支部長ごあいさつ、来賓からのお言葉並びに表彰式が行われたあと非常に和やかな会となりました。

2日目は、上伊那森林組合のペレット工場と薪ストーブ販売・薪供給を行っている株式会社DLDの見学を行いました。伊那は、薪ストーブが非常に盛んな地域でDLDでは薪の宅配を行っています。見学会の参加者は26名でした。

今回の支部大会では、信州大学農学部と長野県林業総合センターで会場関係を中心に準備を行い、当日の会場運営には信州大学農学部の学生に手伝ってもらいました。優秀発表者の選考の部分については名古屋大学のほうで行っていただきました。

国際学会と日程的にバッティングをしてしまったことが少し悔やまれますが、概ね円滑に実施されたと思います。次回は、岐阜県高山市において平成27年10月30日～31日に新しい形を取り入れて行うというふうに伺っております。